

平成 22 年 6 月 23 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦  
(コード番号：4321 東証一部)  
問い合わせ先 取締役経営企画部長 吉川泰司  
電 話 番 号 (03) 3519-2530

### シンジケートローン契約の更新と長期化について

当社は平成 22 年 6 月 23 日付で、三井住友銀行と三菱東京 UFJ 銀行を共同アレンジャーとする 146 億円のシンジケートローン契約を下記の通り締結いたしましたのでお知らせします。

#### 記

1. 金 額 14,562,500,000 円
2. 期 間 平成 22 年 6 月 30 日～平成 25 年 6 月 28 日
3. 共同アレンジャー 株式会社三井住友銀行／株式会社三菱東京 UFJ 銀行
4. エ ー ジェ ント 株式会社三井住友銀行
5. 参 加 金 融 機 関 以下 9 社  
株式会社三井住友銀行、株式会社三菱東京 UFJ 銀行、  
中央三井信託銀行株式会社、農林中央金庫、株式会社りそな銀行、  
株式会社三重銀行、株式会社関西アーバン銀行、三菱 UFJ 信託銀行株式会社、  
三菱 UFJ リース株式会社
6. 概 要 等 当社では急激な事業環境の変化に柔軟に対応すべく、受託資産残高の成長、  
バランスシートのスリム化、安定的な収益構造の構築を柱とした中期経営計画  
の方針に沿って諸施策を着実に実行してきております。平成 22 年 2 月には、当  
社グループ及び事業環境の変化に伴う中期経営計画の見直しを行い、アセット  
マネジメントビジネスへの回帰という基軸を維持しつつ、受託資産残高の成長  
スピードを上方修正する等、その実現に向けた取り組みの更なる強化を図って  
おります。  
この度、当社では、中期経営計画の更なる進展を図るため、平成 21 年 3 月に  
実行された期間 1 年 3 ヶ月のシンジケートローンを、前回と同一のアレンジャー  
、同一の参加金融機関、同一の参加シェアにて長期化し、期間 3 年の長期ロー  
ンとして借り換えることといたしました。長期の安定的な資金を獲得すること  
により、財務基盤を強固なものとするものです。  
当社では、今後も親密金融機関の当社ビジネスへの理解と支援を得ながら、  
様々な施策により財務体質のさらなる強化と安定的な収益の成長を図っていく  
所存です。

以 上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されており、その性質上、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。